

平成17年3月期 決算補足資料

1. 連結業績の推移	・・・	P 1
2. 単独業績の推移	・・・	P 2
3. 主要医薬品の売上推移	・・・	P 3
4. 新薬開発状況（国内）	・・・	P 4
5. 新薬開発状況（海外）	・・・	P 5

1. 連結業績の推移

(百万円)

決算期 項目	'03(H15)年 3月期	'04(H16)年 3月期	'05(H17)年 3月期	前期比	'06(H18)年 3月期予想	前期比	うち上期
売上高	59,528	58,225	60,933	4.6%	62,200	2.1%	30,200
営業利益	6,072	6,210	5,516	11.2%	4,250	23.0%	1,700
(対売上高比率%)	(10.2)	(10.7)	(9.1)		(6.8)		(5.6)
経常利益	5,711	7,389	5,813	21.3%	4,320	25.7%	1,700
(対売上高比率%)	(9.6)	(12.7)	(9.6)		(6.9)		(5.6)
特別損益	1,208	2,233	2,166	3.0%	500	76.9%	500
当期純利益	2,231	5,599	4,734	15.4%	2,800	40.9%	1,200
(対売上高比率%)	(3.7)	(9.6)	(7.8)		(4.5)		(4.0)

連単倍率							
売上高	1.06	1.06	1.06		1.06		1.04
当期純利益	0.96	1.00	1.02		1.00		1.00

研究開発費	13,073	9,826	9,892	0.7%	9,450	4.7%	4,770
(対売上高比率%)	(22.0)	(16.9)	(16.2)		(15.2)		(15.8)

減価償却費	3,083	2,868	3,011	5.0%	3,420	13.6%	1,640
-------	-------	-------	-------	------	-------	-------	-------

設備投資額	1,291	1,817	1,660	8.7%	1,910	15.1%	770
-------	-------	-------	-------	------	-------	-------	-----

輸出高	1,308	785	1,552	97.6%	360	76.8%	280
-----	-------	-----	-------	-------	-----	-------	-----

期末従業員数(人)	1,665	1,677	1,686	9人	-	-	-
-----------	-------	-------	-------	----	---	---	---

2. 単独業績の推移

(百万円)

決算期 項目	'03(H15)年 3月期	'04(H16)年 3月期	'05(H17)年 3月期	前期比	'06(H18)年 3月期予想	前期比	うち上期
売上高	56,240	55,178	57,236	3.7%	58,500	2.2%	29,000
営業利益	6,065	6,175	5,524	10.5%	4,200	24.0%	1,700
(対売上高比率%)	(10.8)	(11.2)	(9.7)		(7.2)		(5.9)
経常利益	5,737	7,331	5,836	20.4%	4,300	26.3%	1,700
(対売上高比率%)	(10.2)	(13.3)	(10.2)		(7.4)		(5.9)
特別損益	1,209	2,235	2,037	8.8%	500	75.5%	500
当期純利益	2,322	5,584	4,655	16.6%	2,800	39.8%	1,200
(対売上高比率%)	(4.1)	(10.1)	(8.1)		(4.8)		(4.1)

研究開発費	13,003	9,831	9,934	1.0%	9,400	5.4%	4,750
(対売上高比率%)	(23.1)	(17.8)	(17.4)		(16.1)		(16.4)

減価償却費	2,852	2,658	2,841	6.9%	3,040	7.0%	1,450
-------	-------	-------	-------	------	-------	------	-------

設備投資額	972	1,646	1,493	9.3%	1,540	3.1%	590
主要内容	生産機械等	生産機械等	生産機械等		生産機械等		生産機械等
	519	796	486		740		190
	その他	その他	その他		その他		その他
	453	850	1,007		800		400

輸出高	1,303	779	1,546	98.4%	350	77.4%	280
-----	-------	-----	-------	-------	-----	-------	-----

期末従業員数(人)	1,444	1,456	1,463	7人	-	-	-
-----------	-------	-------	-------	----	---	---	---

3. 主要医薬品の売上推移

(百万円)

製品名	決算期 '03(H15)年 3月期	'04(H16)年 3月期	'05(H17)年 3月期	前期比	'06(H18)年 3月期予想	前期比	うち上期
糖尿病治療剤 グルファスト	-	-	1,543	-	2,520	63.3%	1,130
パーキンソン病治療剤 カバサル	7,775	9,538	10,010	4.9%	10,620	6.1%	5,340
アレルギー性結膜炎治療剤 リザベン点眼液	4,013	3,184	4,585	44.0%	3,960	13.6%	1,560
緑内障・高眼圧症治療剤 リズモンT G点眼液	1,024	1,152	1,138	1.2%	1,160	1.9%	590
高脂血症治療剤 ベザトール	11,331	11,317	10,481	7.4%	11,040	5.3%	5,480
脳循環改善剤 キサンボン	8,062	6,850	5,554	18.9%	5,480	1.3%	2,770
女性ホルモン剤 エストラダーム	683	599	538	10.2%	490	8.9%	250
子宮内膜症治療剤 ゾラデックス1.8mgデポ	1,200	1,403	1,220	13.1%	1,350	10.7%	670
切迫流・早産治療剤 ウテメリン	7,478	7,259	6,368	12.3%	6,240	2.0%	3,260
血液凝固阻止剤 フラグミン	3,545	3,226	2,921	9.4%	2,860	2.1%	1,440
活性型ビタミンD ₃ 製剤 フルスタン	495	570	691	21.2%	800	15.8%	390
アレルギー性疾患治療剤 リザベン	3,218	2,812	2,856	1.6%	2,720	4.8%	1,360
気管支喘息治療剤 ドメナン	1,097	920	780	15.1%	690	11.5%	350
血圧降下剤 シナロング	-	-	312	-	1,280	310.3%	600
体外診断用医薬品 フリースタイルキッセイ	649	1,079	1,308	21.3%	1,410	7.8%	690

4. 新薬開発状況(国内)

開発段階	製品名/ 一般名	開発番号	開発区分	予想される適応症	主な作用	備考	
承認申請中	ピロカルピン (pilocarpine)	KSS-694	導入品 / イム・ジ・アイ・ファ・マ(アメリカ)	頭頸部の放射線治療に伴う口腔乾燥症状の改善	唾液分泌促進作用		
	シロドシン (silodosin)	KMD-3213	創製品 / 第一製薬共同開発	前立腺肥大症に伴う排尿障害	1A受容体拮抗作用		
臨床試験	第相	ピロカルピン (pilocarpine)	KSS-694	導入品 / イム・ジ・アイ・ファ・マ(アメリカ)	シェーグレン症候群患者の口腔乾燥症状の改善	唾液分泌促進作用	効能追加
	第 / 相	グルファスト錠 (GLUFAST) / ミチグリニド (mitiglinide)	KAD-1229	創製品 / 自社開発	2型糖尿病における食後血糖推移の改善 (α -グルコシダーゼ阻害剤との併用療法)	速効・短時間型インスリン分泌促進作用	効能追加
	第相		KUC-7483	創製品 / 自社開発	過活動膀胱に伴う頻尿・尿失禁	3受容体刺激作用	
			KUR-1246	創製品 / 帝国臓器製薬共同開発	切迫早産	2受容体刺激作用	
			KUL-7211	創製品 / 自社開発	尿管結石に伴う疼痛緩解、排石促進	2, 3受容体刺激作用	

5. 新薬開発状況(海外)

開発段階	一般名/ 開発番号	開発区分/導出先	導出先権利許諾地域	予想される適応症	主な作用
第 相	シロドシン (KMD-3213)	ワトソン(アメリカ)	アメリカ、カナダ、メキシコ	前立腺肥大症に伴う排尿障害	1A受容体拮抗作用
第 相	ミチグリニド (KAD-1229)	自社開発		2型糖尿病	速効・短時間型インスリン分泌促進作用
	KGT	グラクソ・スミスクライン(イギリス)	日本、韓国、中国、台湾を除く全世界	2型糖尿病	SGLT2阻害作用
	KUR-1246	メディシノバ(アメリカ)	日本を除く全世界	切迫早産	2受容体刺激作用
	シロドシン (KMD-3213)	レコルダッチ(イタリア)	欧州(45ヵ国)	前立腺肥大症に伴う排尿障害	1A受容体拮抗作用
	VX-702 (KVK-702)	ヴァーテックス(アメリカ)共同開発		関節リウマチ	p38MAPキナーゼ阻害作用
第 相	KUC-7483	ベーリンガーインゲルハイム(ドイツ)	日本、韓国、中国、台湾を除く全世界	過活動膀胱に伴う頻尿・尿失禁	3受容体刺激作用
	KFA-1982	自社開発		深部静脈血栓症など	ファクターXa阻害作用

メディシノバに技術導出したKUR-1246は第 相臨床試験準備中とともに米国での第 相臨床試験中、また、レコルダッチに技術導出したシロドシン(KMD-3213)は導出先による臨床試験の準備中